

●日本及びその周辺での主な地震活動

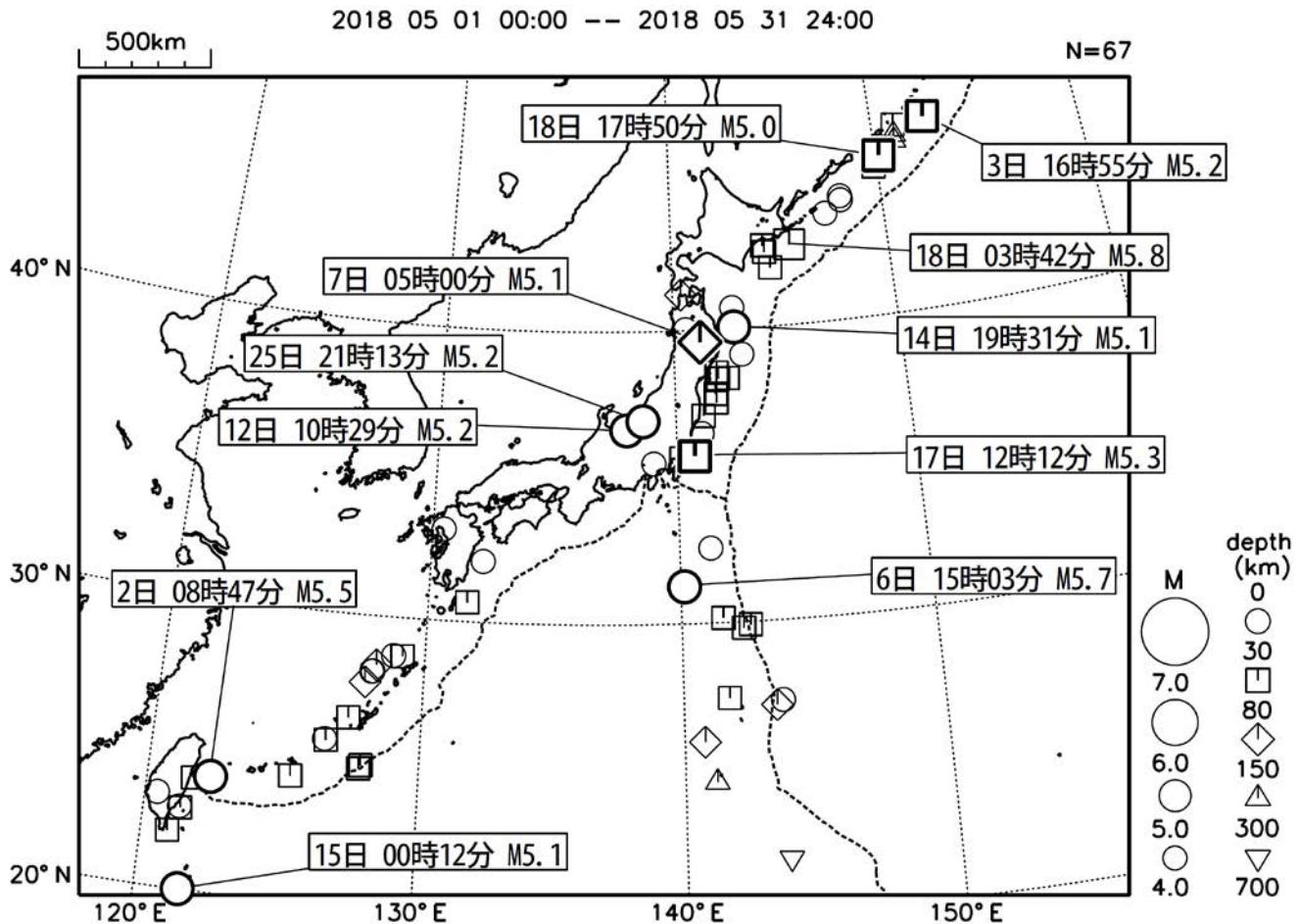


図1 平成30年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である)

5月6日15時03分に鳥島近海でM5.7の地震が発生し、気象庁は津波予報（若干の海面変動）を発表した。この地震により、東京都の八丈島八重根で0.3mの津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測した。情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である。

5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、長野県長野市、大町市、小川村で震度5弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度4～1を観測した。

5月25日21時13分に長野県北部の深さ6kmでM5.2の地震が発生した。この地震により、長野県栄村で震度5強を観測したほか、東北地方南部から関東・中部地方にかけて震度4～1を観測した。

平成30年（2018年）5月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は7回（4月は8回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は67回（4月は84回）であった（図1）。5月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震は1回であった（4月は震度5弱以上を観測した地震が2回、津波を観測した地震はなかった）。

平成30年5月 地震・火山月報(防災編)

表1 平成30年5月に日本及びその周辺で発生した主な地震^{(注1)(注2)(注3)}

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等 ^(注6)	掲載 ページ
1	5 6 15 3	鳥島近海 ^(注7)	5.7	5.3	・・・ T	津波予報（若干の海面変動）を発表 津波観測：八丈島八重根で0.3mの津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測	23
2	5 6 21 13	熊本県熊本地方	3.9	—	・・ S	4：熊本県 宇城市不知火町* 宇城市豊野町*	20
3	5 7 5 0	岩手県内陸北部	5.1	5.1	・・ S	4：岩手県 盛岡市戸川*	11
4	5 12 10 29	長野県北部	5.2	5.0	・・ S	5弱：長野県 長野市信州新町新町* 長野市中条* 大町市美麻* 小川村高府*	15
5	5 13 1 49	宮城県沖	4.8	4.7	・・ S	4：宮城県 南三陸町志津川	12
6	5 14 19 31	岩手県沖	5.1	5.0	・・・	3：岩手県 盛岡市戸川*	13
7	5 17 12 12	千葉県北東部 ^(注8)	5.3	5.4	・・ S	4：千葉県 旭市南堀之内* 多古町多古 横芝光町宮川* 横芝光町栗山*	16
8	5 18 3 42	釧路沖	5.8	5.8	・・ S	4：北海道 根室市厚床*	9
9	5 25 21 13	長野県北部	5.2	5.0	・・ S	5強：長野県 栄村北信*	17

(注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、
⑤その他注目した地震を指す。

(注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注4) Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。

(注5) MHSTの各項目について、M: M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。
被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

(注7) 情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である。

(注8) 情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

平成30年5月 地震・火山月報(防災編)

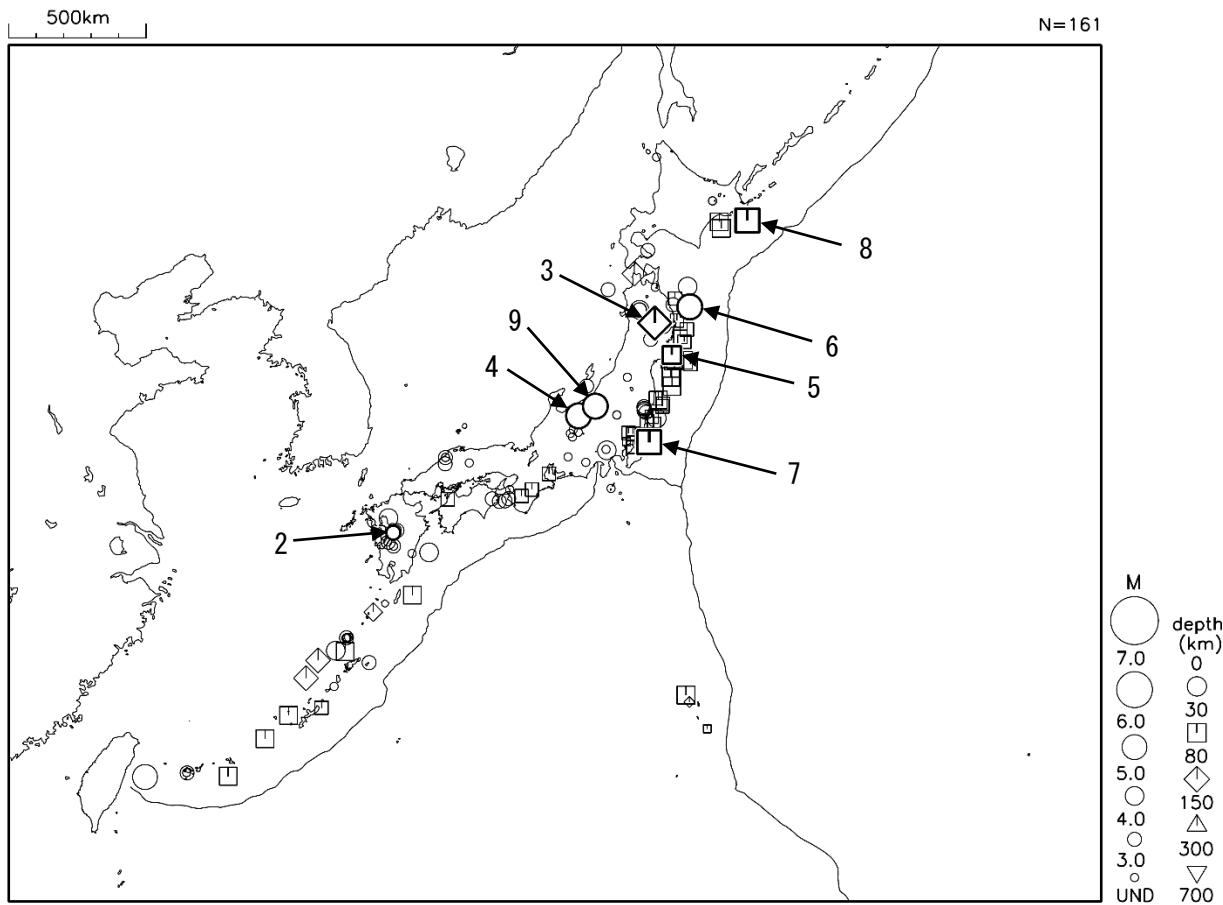


図2 平成30年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

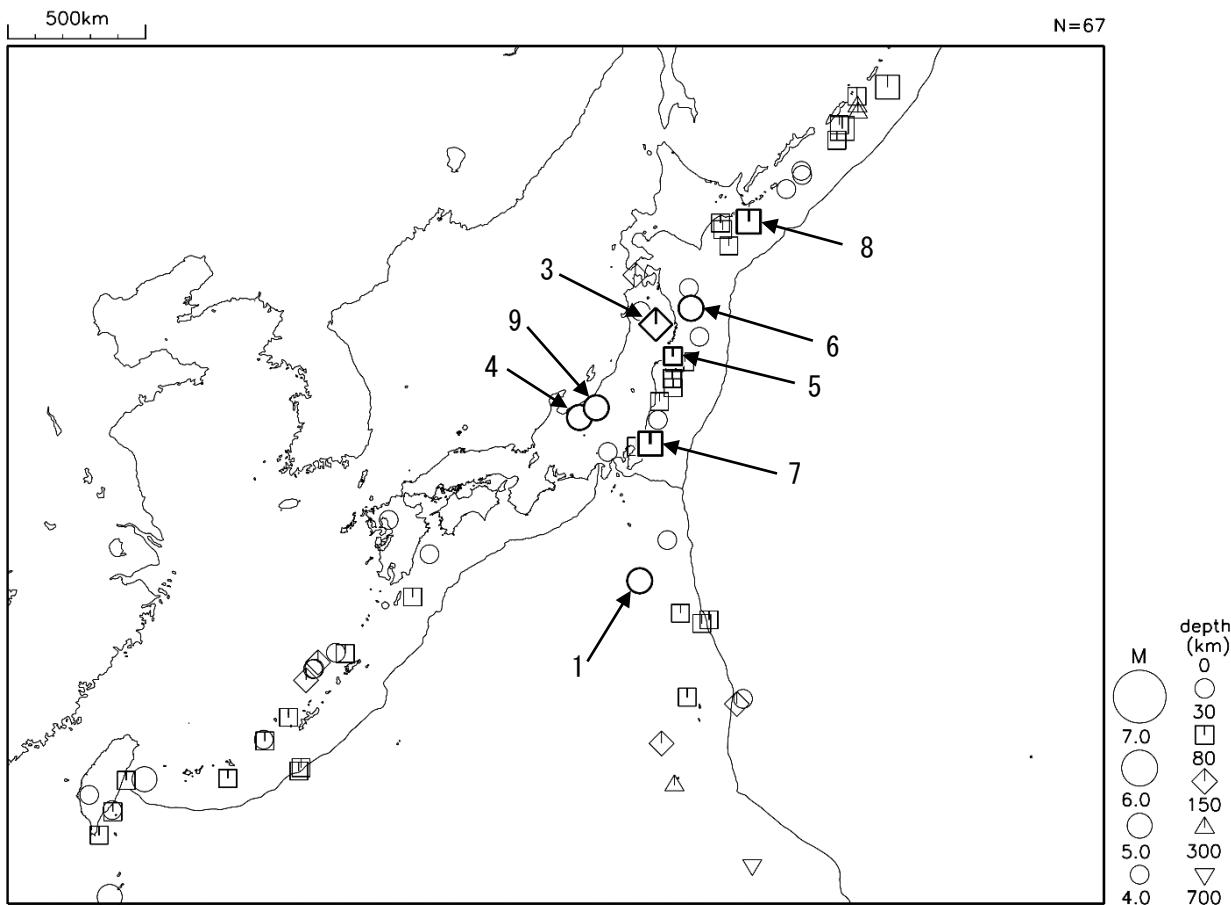


図3 平成30年5月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表1の番号に対応）